

市役所新庁舎整備事業についての お知らせ

問 企画政策課 ☎56-0600



2024年度の検討結果

本市では、「長久手まちづくりビジョン」ロードマップに基づき、新庁舎整備に向けた検討を進めてきました。従来の整備候補地(現庁舎・市役所第2駐車場)に加え、リニモ沿線の2か所を新たに検討しました。

市役所本庁舎は1967年に建設され、現在で58年が経過し老朽化が進んでいます。さらに、職員数増加による事務スペースの不足や、災害時における拠点としての機能強化も求められています。そのため、当初は2024年度中に候補地を決定し、整備に着手する予定でしたが、物価の高騰や他事業との整合、財源確保の見通しが立ちにくい状況などを踏まえ、現時点での判断は見送ることとしました。



判断延期にいたった要因・課題

1

用地取得および 建設費の増額

- リニモ沿線での整備には新たに用地購入が必要
- 物価や人件費の高騰により建設コストが大幅に増加(2020年3月時点での試算よりも1.5~1.7倍程度のコスト増)



2

庁舎面積の 十分な確保が困難

最もコストを抑えられる現庁舎敷地および市役所第2駐車場でも…

- 財源不足により「長久手市スポーツ施設等整備計画」(2020年3月策定)で想定していた庁舎に必要な床面積(約9,500㎡)の半分以下しか確保できない。
- 庁舎面積が確保できない場合、職員の勤務場所および来庁者の窓口を分散せざるを得ない。

3

他事業との 財源バランス



緊急性の高い他事業とのバランスを考慮すると、現時点では新庁舎建設に充てる財源の確保が困難。

今後について

新庁舎整備の検討を再開する際は、次の点を総合的に判断していきます。

- ☑ 新庁舎整備に係る基金の積み立て
- ☑ 国からの不交付団体への財政支援など、社会情勢の変化
- ☑ 民間資金の活用を検討
- ☑ 現庁舎の活用可能期間の見極め

引き続きご理解とご協力をお願いします。

